



▲動画配信が見られます

議員のつぶやき

町のオリジナルな発展のためにも、歴史を大切にしなければ



ひらやま てるあき
平山輝貴

歴史的資料の保管について

質問 収蔵庫増設のための計画は

町 ▶ 現在は計画がなく今後検討したい

問 町の歴史的資料の収蔵施設を増設する考えは。

答 〔生涯学習課長〕
那須歴史探訪館には5,000点の収蔵品があり、大きいものは田中複合施設にも保管している。増設に対する必要性は認識している。

問 田中複合施設での保管は、空調、防火、耐震など適切か。

答 〔生涯学習課長〕
温度管理が難しいため、それに耐えうるものを選び保管するが、全てを整理出来ているわけではない。

問 収蔵施設増設に対しどのような計画をもって取組むのか。

答 〔生涯学習課長〕
施設に多少の余剰があり利用していきたいが、いつ収蔵庫を作るとい計画がなく、今後検討していきたいと考える。

問 「民具」の学校など町有施設での保管は。

答 〔生涯学習課長〕
歴史や文化に触れ合える良い機会になる。学校での保管の可能性を学校や学校関係者と検討していきたい。



那須歴史探訪館収蔵庫に収まりきれない資料

2030年以降の農業生産体制について

質問 耕畜連携による地域農業体制は

町 ▶ 県推進会議による推進

問 人・農地プラン「実質的話し合い」の進捗状況は。

答 〔農林振興課長〕
令和2年度、町内を12地区に分け座談会などを実施。今後、地域計画を策定予定で、アンケート調査や話し合いの場を設け進める。

問 耕畜連携推進による地域農業体制づくりは。

答 〔農林振興課長〕
今年7月に栃木県那須農業振興事務所が中心となり、那須地方耕畜連携推進会議が発足した。耕畜連携の相談、マッチングを関係機関の協力のもと進めたい。

問 人・農地プランの「実質的話し合い」に畜産農家も加わったか。

答 〔農林振興課長〕
コロナ禍もあり参加は少数だったが、今後耕畜連携も必要になってくるので、酪農家を含め様々な業種の農家と一緒に総合的な話し合いを進めていきたい。



※1
ソフトグレインサイレージによる
耕畜連携

※1…収穫した飼料用米を乾燥せず密閉保存して発酵させた家畜用飼料